

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-052913

(43)Date of publication of application : 25.02.1994

(51)Int.Cl.

H01R 9/09

H01R 13/46

H01R 23/68

(21)Application number : 04-220791

(71)Applicant : FUNAI ELECTRIC CO LTD

(22)Date of filing : 28.07.1992

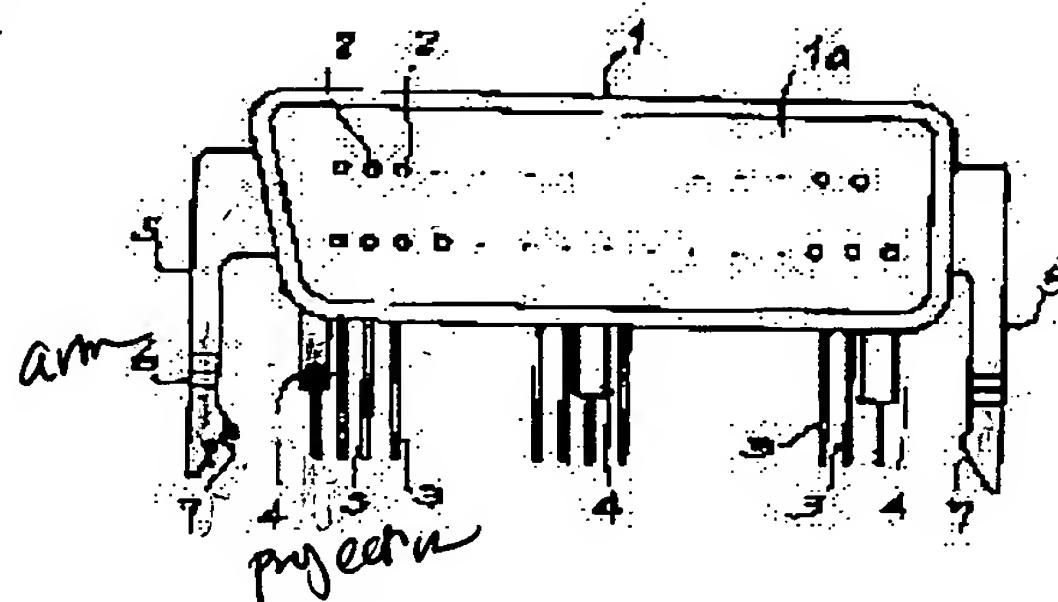
(72)Inventor : KOYAMA ISABURO

(54) CONNECTOR SOCKET

(57)Abstract:

PURPOSE: To dispense with tilt-correction after solder-dipping with tilt after fitting to a PCB prevented, by providing a projection for preventing tilt on fitting leg parts in a connector socket.

CONSTITUTION: In a connector socket having a jack body 1, having plural jacks 9, and fitting leg parts 5, provided in the rear of the jack body 1, a projection 6, having the same plain as the lower surface of a spacer 4, is formed on the jack body front surface 1a side of the fitting leg parts 5.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C): 1998,2000 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-52913

(43)公開日 平成6年(1994)2月25日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 1 R 9/09		Z 6901-5E		
13/46	3 0 4 C	7161-5E		
23/68	N	6901-5E		

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-220791

(22)出願日 平成4年(1992)7月28日

(71)出願人 000201113

船井電機株式会社

大阪府大東市中垣内7丁目7番1号

(72)発明者 小 山 伊 三 郎

大阪府大東市中垣内7丁目7番1号 船井
電機株式会社内

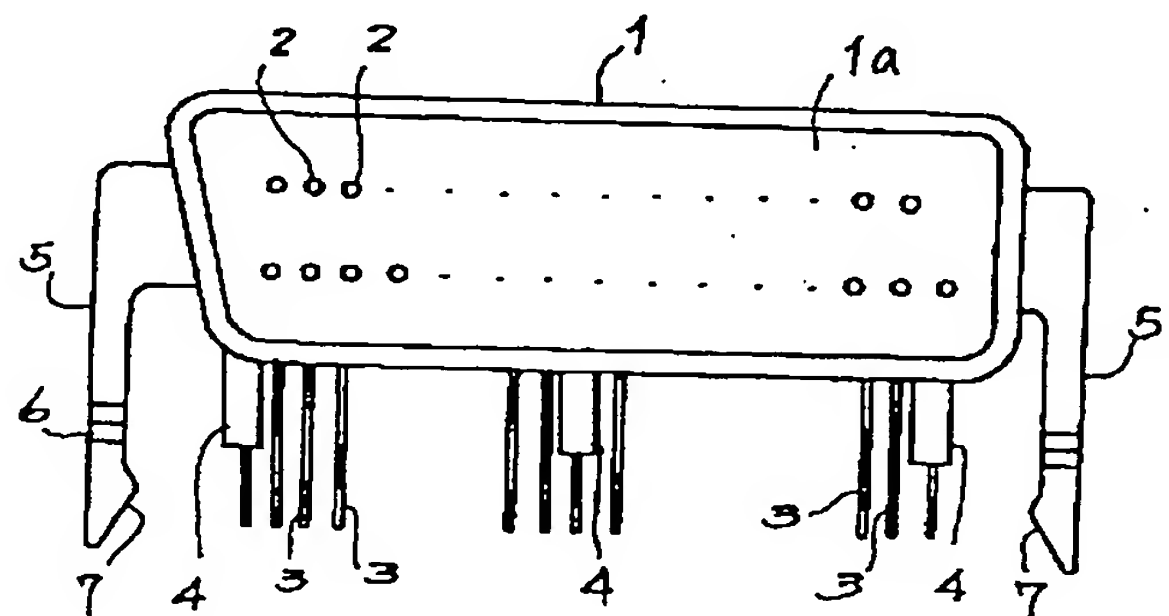
(74)代理人 弁理士 佐藤 英昭

(54)【発明の名称】 コネクタソケット

(57)【要約】

【目的】 本発明は、コネクタソケットに関し、取付脚部に傾斜防止用の突起を設けることによって、PCBへの取付後の傾きを防止し、はんだディップ後の傾き修正を不要とすることを目的とする。

【構成】 複数のジャック9を有するジャックボディ1と、このジャックボディ1の後部に設けた取付脚部5とを備えたコネクタソケットにおいて、前記取付脚部5のジャックボディ前面1a側に前記スペーサ4の下面と同一平面をなす突起6を形成するように構成する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数のジャックを有するジャックボディと、該ジャックボディの両側に設けられプリント基板に取り付ける取付脚部と、前記ジャックボディの後部に設けられ前記プリント基板との間隔を保持するスペーサとを備えたコネクタソケットにおいて、前記取付脚部のジャックボディ前面側に前記スペーサの下面と同一平面内にある下面を有する突起を設けることを特徴とするコネクタソケット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はコネクタソケットに関し、例えば21ピンジャック等をプリント基板に垂直に取付けできるように傾斜防止機能を設けたコネクタソケットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 一般に、21ピンジャックのようなコネクタソケットは、プリント基板（以下PCBと称す）に取付けした後その前面にプラグボードを取付けるため、コネクタソケットはPCBに対して垂直に取付けられていないとプラグボードが取付けられない。従来のコネクタソケットは、図5に示すようにジャックボディ1の両側に設けられている棒状の取付脚部5及びコンタクトをPCB8の取付孔及びスルーホールに挿入し、PCB8の下方に突出したコンタクト3をはんだディップしていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、このような従来のコネクタソケットにあっては、はんだディップ処理する前に、ジャックボディ1は自重で前面方向（図5の矢印A方向）に傾くことがしばしばあり、そのため、はんだディップ後に傾きを修正したり、あるいははんだの後付けをする等の面倒な作業を要するという問題点があった。

【0004】 本発明は、このような従来の課題に鑑みてなされたものであり、取付脚部に傾斜防止用の突起を設けることにより、PCBへの取付け後の傾きを防止し、はんだディップ後の傾き修正を不要としたコネクタソケットを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は、複数のジャックを有するジャックボディと、該ジャックボディの両側に設けられプリント基板に取り付ける取付脚部と、前記ジャックボディの後部に設けられ前記プリント基板との間隔を保持するスペーサとを備えたコネクタソケットにおいて、前記取付脚部のジャックボディ前面側に前記スペーサの下面と同一平面内にある下面を有する突起を設けることを特徴とするものである。

【0006】

【作用】 本発明では、取付脚部をPCBの取付孔に、コ

2

ンタクトをスルーホールに各々挿入すると、PCB上面にスペーサと突起の各々の下面が当り、これによりコネクタソケットは垂直に保持され前方に傾くことがなく、垂直状態を保ったままはんだディップ処理がなされる。

【0007】

【実施例】 以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。図1～図4は本発明に係るコネクタソケットの一実施例を示す図である。

【0008】 まず、構成について説明する。図5と同一部分は同一符号で示している。図1～図4において、1はジャックボディであり、ジャックボディ1は前方に開口した長形状の箱体であり、開口する前面に21個のジャック2が形成されているいわゆる21ピンジャックボディである。ジャックボディ1の両側には取付脚部5、5が一体的に形成され、取付脚部5、5の下端は平板状のPCB8に形成され取付孔10、10を貫通している。取付脚部5の下端にはテーパー状凸部7が形成されPCB8の下面に係合している。ジャックボディ1の後部にはPCB8との間隔を保持するスペーサ4が3箇所儲けられ、スペーサ4の下面と、前記取付脚部5の凸部7とでPCB8の上面及び下面で挟持している。

【0009】 この取付脚部5、5は下部には、前記ジャックボディ1の前面1a側に向く突起6が形成されている。この突起6の下面6aと前記スペーサ4の下面4aとはPCB8の上面で同一平面上にあるように構成されている。3はジャック2に接続するコンタクトであり、コンタクト3はジャックボディ1の後方で直角に屈折しPCB8側に延びている。PCB8には、図2に示すように前記コンタクト3に対応したスルーホール9及び形成されコンタクト3の下部が貫通している。

【0010】 次に作用を説明する。ジャックボディ1の取付脚部4、4をPCBの取付孔10、10に、コンタクト3をスルーホール9に各々挿入する。スペーサ4及び突起6の下面がPCB8の上面に当たった位置で止まり、この位置でコネクタソケットはスペーサ4と突起6の下面6aに支持され、垂直に保持される。そして、この状態のままではんだディップによりコンタクト3ははんだ付けされる。この場合、コネクタソケットは突起6があるためジャックボディ1の前面1a方向への倒れが防止され、常に安定して垂直状態を保ち、常に正常なはんだ付けができる。

【0011】

【発明の効果】 以上説明したように、本発明によれば、取付脚部のジャックボディ前面側にスペーサの下面と同一平面をなす突起を形成したので、コネクタソケットはPCBへの取付け後前方に傾斜することがなく、常に安定して垂直に保持され、はんだディップ後に傾きを修正したり、後付けをする作業が不要となり、精度の向上及び製造コストの大幅な低減をはかることができる。

【図面の簡単な説明】

3

【図1】本発明に係るコネクタソケットの一実施例を示す平面図である。

【図2】図1に示すコネクタソケットを取付けるPCBの平面図である。

【図3】図1に示すコネクタソケットをPCBに取付けた状態の側面図である。

【図4】図1に示すコネクタソケットをPCBに取付けた状態の断面図である。

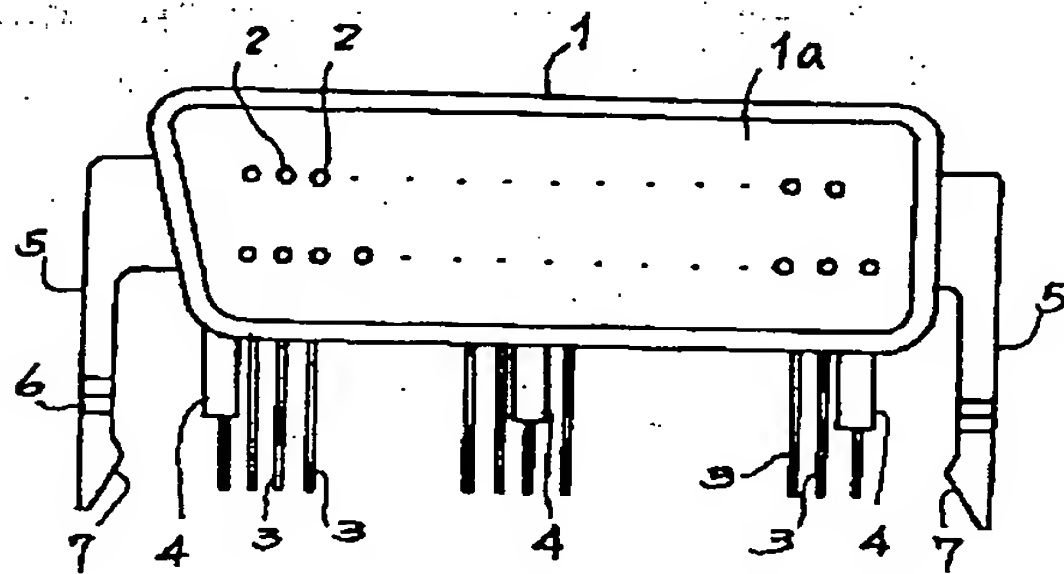
4

【図5】従来のコネクタソケットをPCBに取付けた状態の断面図である。

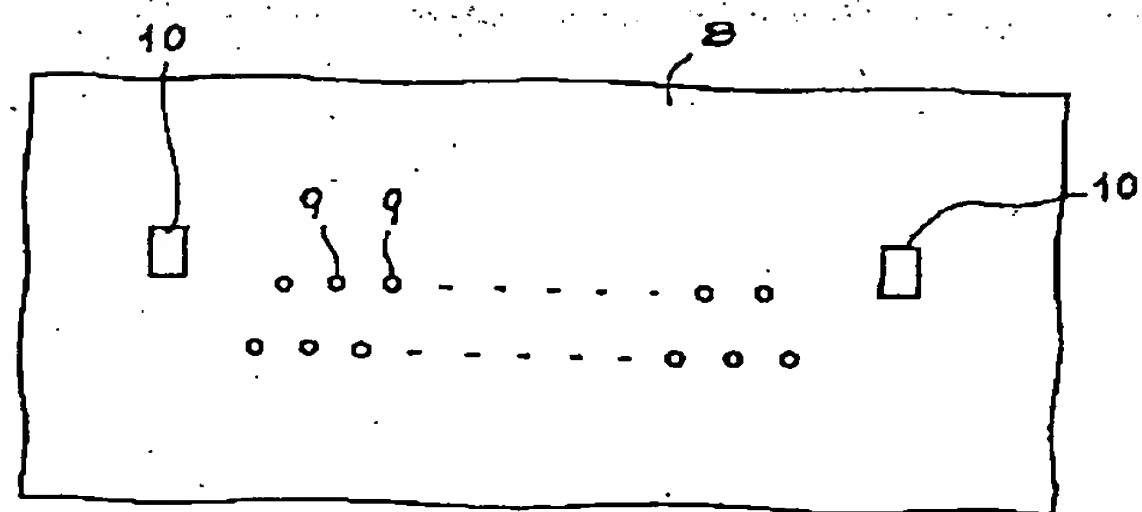
【符号の説明】

- 1 ジャックボディ
- 4 スペーサ
- 5 取付脚部
- 6 突起
- 9 ジャック

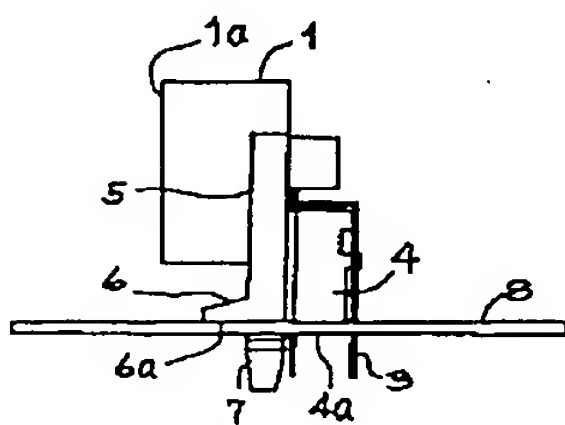
【図1】



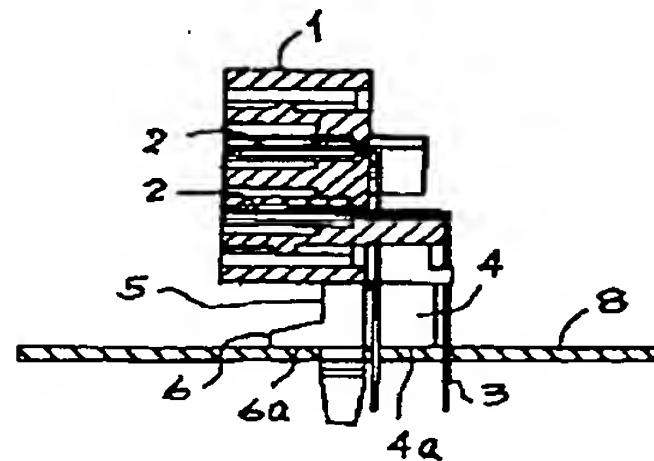
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

